



12月12日(土)

## 樹木医の世界に学ぶ 第16回森林シンポジウム

### 第

16回森林シンポジウムが12月12日、岸本公民館で開催されました。

今回は「樹木医の世界から学ぶ」というテーマで、岸本中学校の生徒が7月に行った林業職場体験のレポートのほか、基調講演や樹木の悩みごと相談会が行われ、町内外から約70名が参加しました。

基調講演では、鳥取大学農学部の本山福壽教授が、名木にまつわるエピソード、樹木の治療や保護のための知識普及・指導を行う樹木医の活躍などを紹介しました。

続けて樹木の悩みごと

相談会では、山本教授の妻で樹木医の山本真弓先生が、「キンモクセイの幹の腐れを予防するにはどうしたらよいか」という参加者からの相談に対し、せん定箇所やせん定期のアドバイスをを行いました。



▲山本教授の基調講演の様子

12月23日(水・祝)

## 年末年始も積雪なく休業 19年ぶり

大山ますみず高原スキー場開き祭

### 大

山ますみず高原スキー場で12月23日、スキー場開き祭が開催されました。昨年下旬は暖かい日が続き、5年ぶりにゲレンデに雪がない状態でスキー場開きを迎えました。

安全祈願祭にはスキー場関係者など約50名が集まり、今シーズンの安心安全を祈願し、神事が執り行われました。

また、毎年恒例の豪華賞品が当たる宝くじには、雨にもかかわらずたくさんの方が訪れ、元気な歓声があがりました。

1月14日現在の積雪は20センチ程度で、まだ営業ができません。

年末年始に休業していたのは、スキー場職員によると19年ぶりということで、職員やスキーファンたちは、一日も早いオープンを待ち望んでいます。



▲雪が積もらず、営業開始を待ち望む関係者たち

1月11日(月・祝)

## 地域の安心安全を願って 伯耆町消防団出初式

### 伯

書町消防団新春恒例の出初式が、1月11日に開催されました。7分団から総勢92名の団員が伯耆町農村環境改善センターに集まり、今年1年の地域の安心安全を願って、防火防災の決意を新たにしました。

式典では、長年消防団員を務めた功績などをたたえ、25名の団員に表彰状が贈られました。また、木村浩消防団長は、「昨年は町内の建物火災件数が増えた。団員は引き続き迅速な消火活動と防災啓発を行い、住民の生命と財産を守りましょう」と訓辞を述べました。

その後、同センター前で分列行進が行われ、音楽に合わせて団員と消防車両が行進しました。

続いて日野川土手に移動した一行は、サイレンが鳴ると同時に、日野川に向かって一斉に放水しました。



▲音楽に合わせて各分団が行進